

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究・一般研究）

研究代表者 所属・職名 学校教育実践研究センター教授

氏 名 中野 博幸

研究期間 平成28年度～平成29年度

研究プロジェクトの名称	新しい連携・協働による教員研修の開発と評価 ；大学の強みをいかした実践と研究の接近
研究プロジェクトの概要	本研究の目的は、学校教育における新しい実践的課題の解決に資する研修プログラムの開発と評価を、教育行政との連携と協働によって行うことにあった。特に、教育現場における多様な実践と学術的な専門性を有する大学としての特色と地域連携において強みを持つ上越教育大学の長年の蓄積を生かして実行することにある。実践開発に加え、随時評価を加え、その内容を改善すること、また、成果を地域に還元することで質的な向上を図った。本研究では、特別支援教育におけるキャリア教育の視座に立った進路指導（企画1）と小学校における英語学習の導入（企画2）を具体的な教育課題とし、地域教育行政と連携し、新しい研修の開発を行った。
研究成果の概要	企画1では、主に上越市教育委員会との連携を図り、初年次にジグソー方式を用いた研修方法と研究教材を作成して実施した。研修の目的は、特別支援教育コーディネータの進路指導への対応力にあった。2年次には、前年度参加者の中で課題となった個別の課題の解決を趣旨とした事例研究を中心とした手法を用いて実施した。 企画2では、初年時に本学学生を参加者に、小学校教育に焦点をあてて英語のイメージプログラムとして行う「イングリッシュキャンプ」を国立妙高自然の家、上越市教育委員会、実施した。2年次には、英語教育重点校をもつ妙高市教育委員会と連携し、校内型の研修を開発、実施した。
研究成果の発表状況	中野博幸・河野麻沙美・清水雅之・渡辺径子新しい連携・協働による教員研修の開発：小学校教員のための「イングリッシュキャンプ」,日本学校教育学会第32回研究大会,上越教育大学、2017年8月 中野博幸・河野麻沙美・佐藤賢治・渡辺径子（2018.3）新しい連携・協働による教員研修の開発：キャリア教育の視点に立った特別な支援を必要とする児童・生徒のための進路指導のありかた,日本学校教育学会第32回研究大会,上越教育大学、2017年8月 河野麻沙美・佐藤賢治「キャリア教育の視点に立った特別な支援を必要とする児童・生徒のための進路指導—地域の実態と課題に即した研修のデザイン—」上越教育大学研究紀要第36巻2号2017年3月
学校現場や授業への研究成果の還元について	本プロジェクトは、学校現場や教育関係機関との連携・協働によって遂行されており、プロジェクトの遂行によって研究成果が社会的に還元されている。